

平成16(2004)年度 日本語一般コース及び Study Japan Program 報告

畝田谷 桂子

1. 日本語一般コースとは？

留学生センターでは、全学の外国人留学生、外国人研究者、その家族を対象に、共通教育や大学院で実施する正規授業以外に、多くの日本語授業を提供している。これらの日本語授業は、「研修コース」と「一般コース」に大別される。「研修コース」は、主に大使館推薦国費研究留学生を対象とする、1学期間のインテンシブな大学院入学前予備教育である。「一般コース」とは昨年度まで、この「研修コース」以外のいわゆる日本語課外補講を核とする日本語授業群であった。

「一般コース」は、昨年度まで本学の全ての外国人留学生、外国人研究者、その家族を対象としていたが、今年度前期から外国人研究者および家族対象の「家族サポートコース」を新たに設け、「一般コース」の受講者は留学生とした。その授業内容は1学期ごとに完結し、学生はあらかじめプレースメントテストで指定されたレベル内において、各々の日本語能力と時間の余裕に応じて、授業を必要なだけ選択して取ることができる。能力別に初級から上級の授業が提供され、技能別の授業も設けている。

ただし上級レベルの授業は、共通教育の日本語・日本事情科目（学部正規留学生の必修科目）を「一般コース」の中で上級レベルとして位置付け、学部正規生以外の上級レベルの留学生にも受講を許可している。またこの他に、水産学研究科が開講している日本語・日本事情（初・中級前半レベル及び初級後半以上のレベル）、農学研究科が開講している科学技術日本語（中級後半から上級レベル）についても、共通教育科目と同様に「一般コース」の中でレベルの位置付けを行い、日本語学習機会の選択肢の一つとして、適正レベルの他研究科の留学生にも受講を勧めている。

本稿では、以下の順で平成16年度実施報告を行う。2. 昨年度の課題に対する今年度の成果（2-1 Study Japan Program開講、2-2 受講者の在籍資格別日本語学習目的、目標到達度の多様性への対応）3. 本年度の運営報告、4. 各授業の受講者数、修了者数、開講場所、受講者の在籍資格、専門・所属、国籍、5. 次年度の課題

2. 昨年度の課題に対する今年度の成果

2-1. Study Japan Program開講

2-1-1. 課題の背景

学術交流協定校の増加に伴って交流協定校派遣の短期留学生（特別聴講学生等）が増えているが、これらの学生の来日時の日本語能力はゼロから上級までとばらつきがある。日本語が初・中級レベルの留学生は日本人向けの一般授業は到底理解できないので、多くの日本語科目（初・中級）を受講することになる。これらの短期留学生が日本語受講者総数に占める割合はほぼ3人に1人の割合

(2004年度)であるが、留学生センターが開講部局であるそれらの日本語授業は単位発行が認められていなかった。これは、日本語未習者にとっては単位が取れる日本語授業が皆無であり、日本語既習者でも単位が取得できる授業数が非常に少ないという状況であった。したがって、短期留学生(特に特別聴講学生)が母国の大学へ持ち帰る単位が学生の授業受講の実態に合わない事態が生じていた。今後も交流協定締結数の増加に伴って学生数も増えることが予想され、短期留学生に対する単位発行問題は早急に解決すべき問題であった。

2-1-2. Study Japan Programの開講

以上の背景を踏まえ、本年度後期から学術交流協定校派遣の特別聴講学生に対して日本語初・中級レベルの単位および修了証を発行するStudy Japan Programを開講した。後期のSJP単位認定者数は22名、総認定単位数154単位、そのうち7名がSJP修了証を取得した。以下に「SJP授業科目概要」からSJPのアウトラインを示す。

SJPの特徴

- 1 1学期または1年間、日本語日本文化を中心に学ぶプログラムである。
- 2 1学期で10単位、2学期で20単位以上修得することができる。
- 3 学術交流協定校からの短期留学生はこのプログラムにより、単位を修得し、修了証を得ることができる。
- 4 このプログラムの受講により、日本語の基本的な運用力を身につけることができる。
- 5 日本の文化と社会について基礎的な学識を得、異文化理解を深めることができる。

単位認定

学術交流協定校からの短期留学生(特別聴講学生及び特別研究学生)は、受講した授業科目について修了要件を満たせば単位が認定される。

成績評価

- ・SJPの受講生に対し、履修した授業科目、成績評価及び単位数を記載した成績証明書を発行する。
- ・単位互換制度により、本学の発行した成績証明書に基づき、母国の大学において単位認定される場合がある。
- ・春学期・秋学期とも10単位以上修得した短期留学生には、SJP修了証書を発行する。

プログラムの概観

SJPは日本語学修科目(必修・選択)、文化学修科目(必修・選択)で構成されている。各授業科目を履修するためには、SJP受講届を提出すること。

表1 プログラムの概観（春学期・秋学期）

種類	区分	レベル又は 科 目	単位数	プログラム修了要件	
				最少単位数	週当たり最少時間数
日本語学 修科目	必修	初級 1	5	5（各レベルで指定する科目 を週5コマ学修すること）	7.5
		初級 2	5		
		初級 3	5		
		中級 1	5		
		中級 2	5		
	選択	初級	1	1（初級・中級の各レベルで開 講されている選択科目のうち週 1コマの科目を学修すること）	1.5
		中級	1		
文化学 修科目	必修	異文化理解 1	2	2（左のいずれか1つの科目 を学修すること）	1.5
		異文化理解 2	2		
	選択	日本文化入門	2	2（左のいずれか1つの科目 を学修すること）	1.5
		日本人と学ぶ鹿児島	2		
修了レポート指導	2				
合 計				10単位	12時間／週

2-2. 受講者の在籍資格別日本語学習目的、目標到達度の多様性への対応

2-2-1. 課題の背景

日本語受講者は、その在籍資格（大学院生、研究生、短期留学生等）によって、日本語学習目的や必要とされる到達能力が多様である。

短期留学生（本年度日本語受講者の30.2%）はコミュニケーション一般の能力を養う教育が求められるが、学位取得目的の学部生・研究生・大学院生（受講者の56.5%）はいわゆるアカデミックジャパニーズ、すなわち大学における勉学や研究に必要な日本語のトレーニングが必要であり、必要とする教授内容に違いがある。また、学位取得目的の場合でも、論文を日本語で書くことを求められているか否か等によって到達度として必要とされる能力が異なる。

教育の質を向上させるためには、その違いを認識した上で、日本語プログラム全体として一貫性のある視点でシラバス、カリキュラムを計画し、教授項目や訓練する技能を各授業に割り振ったり、個別ニーズに応じて必要な技能の訓練が選択できるようなクラスをレベル別に整えることが必要である。またアカデミックジャパニーズそのものについても現在その内容が模索されている段階であり、効果的な教育のためには、その研究成果を踏まえながら必要な教授項目を選定する必要がある。

2-2-2. 今年度の取り組み

以上の課題認識を踏まえた上で昨年度から種々の取り組みを実施しているが、今年度は新たに1) 2) の取り組みを行った。

1) 初級1クラスにおける日本語環境でのコンピュータリテラシー教育

アカデミックジャパニーズの一つとして、初級から日本語環境でのコンピュータリテラシー教育

を実施した。本年報13頁に詳細な報告がある。

2) 全レベル対象の日本語ワークショップクラスの開講

在籍資格別日本語学習目的、目標到達度の多様性に対応するために、あえて全レベルに開かれた授業を設定し、個別課題や質問に対応し、指導する機会を設けた。

3) 昨年度からの継続取り組み

- a. 初級：複数の同一授業担当者間のフィードバック、情報交換を活発にし、授業運営について共通理解を深めている。授業報告や連絡に授業ごとの電子メールアドレスを取得し、担当授業以外の進捗状況を全初級担当者が把握した。学生の自宅学習用教材を共同製作した。
- b. 中級：技能別クラス編成をとっているが、個別クラスをまとめて総合体として捉え、全体のバランスを考えて個別のクラスの教科書を決めている。学期終了時に担当授業の授業報告を提出、学期はじめの授業担当者の会議で情報交換に資し、共通理解を深めている。
- c. 上級：授業担当者間の情報交換に努め、通年4クラスを一貫性のある総合的な学習機会として捉え、扱う技能や内容を配置したシラバスを作成している。アカデミックジャパニーズに必要な技能や内容を取り扱っている。

3. 本年度の運営報告

【1】開講時期

前期：4／19～7／23（14週間） 後期：10／21～2／18（16週間）

新規留学生の多くが4月、10月初旬に渡日するが、渡日後の各種手続き等に調整期間が必要であるため、学期期間は全学の授業日程より遅れて設定している。

【2】オリエンテーションとプレースメントテスト

前期4／13、後期10／14（午前：初・中級プレースメントテスト、午後：オリエンテーション）

a. プレースメントテスト：

初・中級プレースメントテスト：前期4／13午前、後期10／14午前

上級プレースメントテスト：各学期の共通教育初回授業で実施

プレースメントテスト追加試験：4／24，5／1，10／23，30

対象：所定の日時に受験できなかった学生

受験者総数：前期61名、後期51名（上級テスト受験者（学部正規生等）も含む。）

初・中級用問題：SPOT B（Simple Performance-Oriented Test筑波大学開発）

及び自作文法問題

上級用問題：SPOT A、日本語検定協会のJ. Testの一部、大学生の基礎学力判定・日本語（プレースメントテスト）（文部科学省メディア教育開発センター開発）

b. オリエンテーション：

配付物：前期『鹿児島大学日本語プログラムSpring 2004』

『鹿児島大学日本語プログラム プログラムガイドSpring 2004』
後期『鹿児島大学日本語授業履修案内 Fall 2004』
『スタディ・ジャパン・プログラム授業科目概要』

上記配付物により、全授業のレベル別リスト及び授業担当者、教科書、授業内容、受講規則及び修了認定規則、教室配置図等を説明し、プレースメントテスト結果に基づいて受講クラスについて個別指導を行った。

【3】留学生センターホームページで日本語プログラム情報公開

例年どおり前・後期ともオリエンテーション当日までに、新学期の日本語プログラム情報をホームページで公開した。ホームページ作成に御助力頂いている教育学部の中島先生に厚くお礼を申し上げる。

【4】コースインフォメーション作成及び初回授業での学生への配布、説明

全授業担当者がコースインフォメーション（『鹿児島大学日本語授業履修案内 Fall 2004』等に記載されているシラバスより詳しい、各授業についての確定情報）を作成し、各々の初回授業で学生に配布、説明している。コースインフォメーションは、授業開始後留学生センターにファイルし、随時学生や他授業担当者に提示できるようにしている。遅れて来日した学生や、興味のある授業について情報を得たい学生に各クラスの詳しい情報を提供できるとともに、講師間の授業情報公開に資している。

【5】学生による授業評価

留学生センター所属授業担当者の日本語授業全てに対して学生による授業評価を行い、留学生センターで回収、集計結果を本年報にて毎年公表している。授業評価質問紙は留学生センターで統一したものを作成、使用している。

【6】オープンクラス（授業公開）

前期 6 / 24 公開クラス：初級 1、初級 2、初級 3、研修コース

参観者総数44名 内訳：学内 学生（日本語教育入門受講生他） 7 名

学外 鹿児島国際大学学生22名

鹿児島純心女子大学学生15名

後期 1 / 24 公開クラス：初級 1

参観者総数 8 名 内訳：学内（留学生指導教官） 1 名

学外 7 名

毎学期一定の授業を学内、学外者に公開し、参観者との意見交換および質疑応答を行っている。

【7】2004年度の開講科目状況

今年度鹿児島大学で開講した全日本語授業の開講科目数状況を表2に示す。

表2 2004年度 鹿児島大学日本語授業の開講科目数状況

開講部局		レベル		開講コマ数／週	
				前期	後期
留学生センター	研修コース	初級（集中コース）		14	0
	日本語課外 補講(前期)	初 級	初級 1	7	7
			初級 2	7	10(内 3 コマはSJP科 目ではない)
			初級 3	5	6
	Study Japan Program (後期)	中 級	中級 1	8	8
			中級 2	4	5
		全レベル向け		2	3
	家族サポート コ ー ス	初 級	8	11	
		中 級	1	1	
	日韓コース	中 級	0	0	
水産学研究科		初・中級		2	2
農 学 研 究 科		中 級 2		1	0
共 通 教 育		上 級		7	8
週あたり開講コマ数合計				66	61
週あたり開講コマ数 前期＋後期 総計				127	

- ・「漢字1」は研修コースと日本語課外補講初級1レベル双方の開講コマ数に含まれる。
- ・「コンピュータ実習（後期）」は初級1、「初級作文」「漢字2」「初級特別」は初級2、「漢字3（後期）」は初級3、「日本文化入門」「発音クリニック」「中級作文」「読解入門」は中級1、「日本人学生と学ぶ鹿児島（後期）」は中級2、「異文化理解1」「異文化理解2」「日本語ワークショップ」「CALL（前期）」は全レベル向けの開講コマ数として数えた。
- ・家族サポートコースは国際交流会館クラスと桜ヶ丘日本語クラス。
- ・夏・冬・春季休業中の補講は開講コマ数に含めない。
- ・漁業庁委託コースは開講コマ数に含めない。

週あたり開講コマ数の前・後期総計は前年度の126コマとほぼ同様で、大枠で定着したと言える。本年度から、家族や研究者のために新たに家族サポートコースを設けた。この基本体制の中で、年度内において様々に起こる個別要因により開講科目を変更せざるを得ない場合には、学期ごとに微調整し、柔軟な対応を継続して行った。

本年度開講した授業科目を表3「レベル別開講科目一覧表」に示す。各授業の担当者、内容、教

材等については、学生向けパンフレット『鹿児島大学日本語プログラム プログラムガイドSpring 2004』、『鹿児島大学日本語授業履修案内 Fall 2004』を御覧頂きたい。紙面の都合上ここでは割愛させて頂く。

表3 レベル別開講科目一覧表 平成16年度前期

開 講 部 局	開 講 場 所	コース	レベ ル						
			初 級			中級 1	中級 2	上 級	
留 学 生 セ ン タ ー	郡 元	研修コース	研修コース(集中コース)						
		一 般 コース	初級 1 漢字 1	初級 2 漢字 2 初級作文	初級 3 初級応用	中級会話 1 非漢字圏読解 1 漢字圏読解 1	中級会話 2 漢字圏読解 2		
						中級作文、発音クリニック、 日本文化入門			
						C A L L、日本語ワークショップ			
	桜が丘	家族サ ポート コース	初 級		中 級				
国際交 流会館		初級 1	初級読解作文 たのしい日本語						
共 通 教 育	郡 元								日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本事情A 日本事情C
水産学 研究科	下荒田		日本語日本事情Ⅰ						
			日本語日本事情Ⅱ						
農 学 研究科	郡 元					科学技術日本語			

平成16年度後期 ■■■■■ はStudy Japan Program科目

開 講 部 局	開 講 場 所	コース	レベ ル					
			初 級			中級 1	中級 2	上 級
留 学 生 セ ン タ ー	郡 元	研修コース	研修コース(集中コース)					
		一般 コース 及び Study Japan Program	初級 1 漢字 1 コンピ ュータ 実習	初級 2 漢字 2 初級作文	初級 3 初級応用 漢字 3	中級会話 1 読解入門 中級読解 1	中級会話 2 中級読解 2	
				初級特別		中級作文、発音クリニック、日本文 化入門、日本人学生と学ぶ鹿児島		
			日本語ワークショップ、異文化理解 1、異文化理解 2					
	桜が丘	家族サ ポート コース	初 級		中 級			
国際交 流会館		初級 1	初級読解作文 たのしい日本語					
共 通 教 育	郡 元		日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本事情B					
水産学 研究科	下荒田			日本語日本事情Ⅰ				
				日本語日本事情Ⅱ				

4. 各授業の受講者数、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属、国籍

前期と後期の各授業の受講者数、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属、国籍を41～44頁の表7、8にまとめた。受講者の特徴を、例年にならい以下4点について考察する。

【1】受講者数と修了者数

2001年度からの受講者総数と修了者数および全学留学生数を表4に示す。(修了条件：出席率80%以上、試験得点60%以上)

表4 日本語受講者総数及び修了者数および全学留学生数 (単位：人)

	受講者総数 (延べ)		修了者数		全学留学生数 (各年度大学概要による)
	前期	後期	前期	後期	
2001年度	180	199	73	65	322
2002年度	257	302	66	71	300
2003年度	297	301	92	93	325
2004年度	333	336	91	168	344

留学生数の増加にともない、日本語受講者数も増加している。例年どおり、学位取得を目指す多くの大学院生と研究生等が、修了できない理由として専門科目の多忙さ、時間割りの重複等を抱えている。しかし、修了条件を満たせなくても可能な限り授業に参加し、日本語そのものの能力を伸ばす努力をしている学生が多い。一方、本学の学位取得を目的としない短期留学生(学術交流協定校派遣の特別聴講学生、特別研究学生、及び科目等履修生。)は修了条件を満たしやすい環境にあり、本年度も修了証または単位を得て帰国することに意欲的であった。

【2】受講者の在籍資格

2002年度からの受講者の在籍資格別割合を表5に示す。

表5 受講者の在籍資格別割合 (単位：%)

	学位取得 目的の 学 生	(内 訳)				短 期 留学生	家 族	研究員
		大学院生	研究生	学部生	予備教育生			
2002年度	67.7	24.5	30.4	12.9	集計に含めなかった	19.7	9.7	3.0
2003年度	63.9	21.2	23.1	15.4	4.2	24.1	9.9	2.2
2004年度	56.5	15.7	15.5	21.4	3.9	30.2	10.3	3.0

受講者の在籍資格は、学位取得を目指す大学院生、研究生、学部生、予備教育生が半数以上を占めるが、短期留学生の顕著な伸びにより年々その割合が減少している。また、本年度は特に学部入学人数の増加により、学部生の割合が高まった。

また、留学生総数に占める在籍資格別人数割合と、日本語受講者の在籍資格別割合を比較すると以下ようになる。

表6 留学生総数に占める在籍資格別人数割合と、日本語受講者の在籍資格別割合

留学生総数に占める在籍資格別人数割合は平成16年度5/1現在。平成16年度鹿児島大学概要による。

	A. 留学生総数に占める 在籍資格別人数割合	B. 日本語受講者の在籍資格 別割合
大学院生、研究生、学部生、予備 教育生（学位取得目的の留学生）	89.0%	56.5%
短期留学生	7.9%	30.2%

短期留学生は留学生全体の7.9%を占めるにすぎないが、日本語授業では30.2%、ほぼ3人に1人を占めている。また逆に、大学院生、研究生、学部生のグループは留学生全体の89.0%を占めるが、日本語授業では56.5%にとどまっている。例年見られるこの傾向は、短期留学生は共通教育や各部署で開講されている科目を受講して理解できるほどの日本語能力がなく、その代わりに初・中級レベルの日本語授業を多く取るからであり、学位取得目的の学生が留学生総数に占める割合に比して日本語受講者に占める割合が少ないのは、彼等が長期滞在であり、滞在期間中初期には日本語授業を取るが、後半になると専門の勉強に比重が置かれ、日本語授業を取らなくなるためである。学部生を例にとると、1、2年ですべての日本語科目を履修する必要がある、この単位を取得すれば、3、4年では履修できる日本語科目が選択肢としてまったくない。また大学院生では、多くは非漢字圏の博士過程に見られるが、研究に日本語が必要でない学生もあり、この場合は初級を修了し生活に必要な日本語を身につけた後、来日後比較的短期間で日本語授業から離脱する。

【3】受講者の専門・所属

前期は多い順に、工学22.5%、農学16.2%、法文15.9%、教育学9.3%、水産学8.1%、であった。後期は、農学21.7%、教育学19.6%、工学18.5%、法文8.3%、医学8.0%、の順であった。理系分野が全体の73.3%（前期74.5%、後期72.1%）であり、例年なみに全体の7割を占めている。

開講場所で受講者の専門を見ると、1）郡元キャンパスでは、全ての専門の学生が受講しており、2）桜ヶ丘キャンパスは医学と歯学の学生のみ、3）下荒田キャンパスでは水産学の学生の他教育の学生が1名受講した。

【4】受講者の国籍

最多の中国の受講者が総受講者に占める割合は、前期40.5%、後期32.7%、第2位の韓国（前期17.1%、後期19.4%）を含めると、漢字圏の学生が例年どおり全体の約半数（前期57.6%、後期52.1%）を占める。分析を始めた2001年度からの推移を見ると、年々韓国の学生が増加しており、（通年平均の対前年度比で本年度5.6%増）中国の学生は2002年度から減少している。（通年平均の対前年度比で本年度3.6%減）これは、韓国の学術交流協定校が増え、派遣学生が増えたことによる。

非漢字圏の学生で多いのはオーストラリア、インドネシア、バングラデシュ、マレーシア、ミャンマーである。他はアジア、大洋州、南米、アフリカ、中近東各国にわたってばらついている。例年どおり北米、ヨーロッパ地域からの受講生は極端に少ない。本年度はアメリカ、スペイン、ドイツ、ロシアの受講生が少数存在した。

【5】その他の分析

紙面の都合上これ以上の分析はここでは省略するが、上記4点の考察の他に、レベル別、授業別の受講者数／修了者数／専門／国籍、授業別在籍資格の分析が可能である。例年まとめている受講者の情報は、日本語プログラム全体及び各授業のカリキュラム編成やシラバスを作る上で基礎的な材料となり、その時々目的に応じて集計結果を分析して利用することができる。毎年受講者調査を行う必要がある。

5. 次年度の課題

今年度は Study Japan Program を開講し、短期留学生の増加に伴う単位問題を解決した。外形が整った状態であるので、次年度も教育の質を例年どおり継続してさらに向上させる必要がある。次年度から非常勤講師の交代もあり、新しい人材の教育プログラムへの理解も深めなければならない。

課題2点目は、次年度以降の非常勤講師予算削減による授業閉鎖の影響をいかに少なくするかという問題である。次年度から水産学研究科の日本語授業が閉鎖となる。(下荒田キャンパスの年間4コマ) また学部生数が増加している中、共通教育の後期日本語クラスが3クラスから2クラスとなり、クラス当たり学生数が増える見込みである。これらが与える影響を見極め、対応していく必要がある。

(留学生センター 助教授)

表7 各授業の開講場所、受講者数、性別、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属

平成16年度前期

科 目	開講場所	受講者数	性 別		修了者数	受講者の在籍資格						専門・所属										
			男性	女性		学部生	大学院生	研究生	予備生	短期生	研究員	家族等	農学	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学	他大学	その他
初級 1	総合教育研究棟	13	10	3	8	0	5	4	0	0	2	0	3	0	0	4	0	2	0	2	0	0
初級 2		11	5	6	9	0	1	1	0	0	8	0	1	4	0	1	2	0	3	0	0	0
初級 3		14	8	6	12	0	4	2	0	4	4	1	3	6	0	0	1	1	0	3	0	0
初級作文		8	2	6	7	0	2	1	0	4	4	0	1	3	0	1	1	0	2	0	0	0
漢字 1		11 ^(注)	8	3	11	0	0	0	10	1	1	0	0	4	4	0	1	0	0	1	1	0
漢字 2		10	6	4	8	0	2	1	0	5	0	2	2	2	0	0	1	0	3	0	2	0
初級 3 応用		11	6	5	5	0	3	1	0	4	1	2	4	0	0	1	2	0	0	2	0	0
中級会話 1		6	5	1	5	0	1	2	0	1	1	1	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0
非漢字圏読解 1		3	3	0	3	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1
漢字圏読解 1		9	4	5	4	0	3	2	0	2	1	1	3	0	1	1	1	1	0	0	0	1
中級会話 2		8	3	5	2	0	2	2	0	4	0	0	1	0	0	3	2	2	0	0	0	0
漢字圏読解 2	5	1	4	4	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	
中級作文	12	6	6	4	0	4	4	0	2	1	1	5	0	1	2	2	0	0	0	0	1	
発音クリニック	13	5	8	4	4	1	2	3	0	4	1	2	2	1	0	3	2	2	0	0	1	
日本文化入門	4	1	3	3	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	
科学技術日本語	8	7	1	1	0	8	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
日本語ワークシヨップ	9	4	5	1	0	1	1	0	0	6	1	0	0	0	1	2	1	4	0	0	1	
日本語 I*	34	17	17	0	22	1	0	0	11	0	0	1	3	1	15	10	3	0	1	0	0	
日本語 II*	36	18	18	0	22	2	0	0	12	0	0	2	4	0	15	10	3	0	2	0	0	
日本事情 A*	39	20	19	1	23	1	2	0	13	0	0	2	4	1	14	12	3	0	2	0	1	
日本事情 C*	15	7	8	0	12	0	0	0	3	0	0	0	3	2	5	4	0	0	1	0	0	
郡元キャンパス小計	279	146	133	91	80	44	31	10	91	7	16	54	19	12	73	53	29	0	16	1	6	
日本語・日本事情 I	5	4	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本語・日本事情 III	4	2	2	0	0	3	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	
下荒田キャンパス小計	9	6	3	0	0	8	0	0	1	0	0	0	8	0	0	0	1	0	0	0	0	
初級 1	13	2	11	1	0	0	2	0	0	0	11	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
初級読解作文	11	2	9	1	0	0	2	0	0	0	9	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
たのしい日本語	8	1	7	1	0	0	1	0	1	0	6	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
国際交流会館小計	32	5	27	0	0	0	5	0	1	0	26	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	
初級	7	4	3	1	1	2	0	0	0	2	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	
中級	6	2	4	1	0	4	1	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	
桜ヶ丘キャンパス小計	13	6	7	0	1	6	1	0	0	3	2	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	
総計	333	163	170	91	81	58	37	10	93	10	44	54	27	23	75	53	31	0	19	1	6	

注) 1 数字は延べ数。

2 *印の科目は共通教育科目。

3 色付セルは単位発行ができない学生の修了者数。

4 修了者数欄  は修了認定をしない授業。


5 <>は内数で研修コース生。

6 専門・所属：研修コースの学生はそれぞれの専門によって分類。

7 短期等：特別聴講生、特別研究生、県費留学生、教員研修留学生、日本語日本文化研修留学生。

各授業の開講場所、受講者数、性別、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属
平成16年度後期

科 目	開講場所	受講者数	性 別		修了者数	受講者の在籍資格					専 門 ・ 所 属									
			男性	女性		学部生	大学院生	研究生	予備生	短期等	研究員	家族等	農学	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学
初級会話 1	総合教育研究棟	14(1)	11	3	14	0	0	5	1	8	0	0	7	1	1	0	0	3	1	1
初級会話 2		13	9	4	12	0	0	8	0	5	0	0	5	2	0	2	0	3	0	1
初級会話 3		17	11	6	10	0	5	6	0	4	0	2	4	4	2	3	0	5	0	1
初級作文		12	8	4	8	0	0	7	0	5	0	0	5	1	0	2	0	3	0	1
漢字 1		10(1)	7	3	10	0	0	3	1	6	0	0	6	1	0	0	0	1	1	1
漢字 2	共通教育棟	10	6	4	10	0	0	5	5	0	0	0	4	1	0	1	0	3	0	1
漢字 3		2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
初級応用		16	11	5	8	0	5	6	0	3	0	2	4	0	1	3	0	5	0	1
中級会話 1		10	6	4	6	0	6	2	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	3
読解入門		7	4	3	7	0	2	2	0	3	0	0	2	0	1	0	1	2	0	1
中級読解 1	総合教育研究棟	4	3	1	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0
中級会話 2		7	3	4	5	0	2	0	1	2	1	1	3	0	0	0	1	2	0	0
中級読解 2		7	2	5	5	0	2	0	1	2	1	1	1	0	0	2	1	2	0	0
中級作文		8	3	5	4	0	3	0	1	2	0	2	1	0	0	0	1	2	0	2
発音クリニック		2	1	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
日本語ワークショップ	共通教育棟	4	3	1	4	0	1	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1
日本人と学ぶ鹿児島		12	3	9	9	0	0	0	1	11	0	0	1	0	1	0	3	7	0	0
異文化理解 1		17	10	7	14	0	0	3	2	12	0	0	7	1	0	0	1	6	1	1
異文化理解 2		5	5	0	5	0	0	4	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0
日本文化入門		7	2	5	4	0	0	1	1	4	0	1	1	0	1	0	1	3	0	0
修了レポート		12	9	3	12	0	0	4	2	6	0	0	7	1	1	0	0	1	1	1
日本語Ⅲ*		35	18	17	1	20	3	1	0	11	0	0	1	2	4	17	6	4	0	1
日本語Ⅳ*		34	15	19	2	20	1	3	0	10	0	0	3	2	2	15	6	5	0	1
日本語Ⅴ*		34	14	20	2	22	1	0	0	11	0	0	3	2	5	14	5	4	0	1
郡元キャンパス小計		299	166	133	158	62	34	62	16	109	3	13	71	14	19	62	28	66	4	22
日本語・日本事情Ⅱ	水産学研究科	4	3	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
日本語・日本事情Ⅳ		2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
下荒田キャンパス小計	国際交流会館	6	4	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
会話初級 1		9	3	6	4	0	0	0	0	0	4	5	2	2	0	0	0	0	0	0
会話初級 2		6	1	5	4	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
たのしい日本語		5	4	1	2	0	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2
国際交流会館小計		20	8	12	10	0	0	5	0	0	4	11	2	5	0	0	0	0	0	2
桜ヶ丘初級 1	医学部 国際交流室	4	3	1	4	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0
桜ヶ丘初級 2		3	2	1	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
桜ヶ丘中級		4	1	3	4	0	3	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0
桜ヶ丘キャンパス小計		11	6	5	0	0	7	0	0	0	3	1	0	0	8	0	0	0	2	0
総計		336	184	152	168	62	47	67	16	109	10	25	73	25	27	62	28	66	6	24

注) 1 数字は延べ数。
2 *印の科目は共通教育科目。
3 色付セルは単位発行ができない学生の修了者数。
4 修了者数欄  は修了認定をしない授業。

5 <>は内数で研修コース生。
6 専門・所属：研修コース、日韓理工系研修コースの学生はそれぞれの専門によって分類。
7 短期等：特別聴講学生、特別研究生、県費留学生、教員研修留学生、日本語日本文化研修留学生。

表8 受講者の国籍
平成16年度前期 受講者の国籍

国	籍	科														目						国 別 人 数
		初 級	初 級	初 級	漢 字	漢 字	初 級	初 級	中 級	非 漢 字	漢 字	中 級	漢 字	中 級	漢 字	漢 字	初 級	初 級	初 級	初 級	初 級	
ア	メ	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ア	ル	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
イ	ン	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	8
エ	チ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
オ	ー	1	2	1	2	0	3	1	0	0	1	2	0	2	0	2	0	0	0	1	1	21
韓	国	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	2	0	2	3	11	12	14	5	57	0
コ	ー	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	57
コ	ロ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
コ	ン	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
ス	ベ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
ス	イ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
タ		0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
台	湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	5
タ	ン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中	国	11	2	4	2	0	0	4	3	0	5	1	1	6	5	6	1	0	18	19	6	135
チ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ド	イ	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	10	0	1
ナ	イ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
パ	キ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
パ	タ	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
パ	ニ	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
バ	ラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
フ	イ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ブ	ラ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ベ	ト	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
マ	レ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
ミ	ヤ	0	0	2	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	12
ヨ	ル	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ラ	オ	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
リ	ビ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
受	講	13	11	14	8	11	10	11	6	3	9	7	6	8	12	13	5	8	36	38	15	333

受講者の国籍
 平成16年度後期
 受講者の国籍

国 籍	科 目																人 別 数																					
	初 級 会 話 1	初 級 会 話 2	初 級 会 話 3	初 級 文 作	漢 字	漢 字	漢 字	初 級 応 用	中 級 会 話 1	中 級 読 解 1	中 級 会 話 2	中 級 読 解 2	中 級 文 作	発 音 ク リ ニ ッ ク	日 本 語 ワ ー ク シ ョ ッ プ	異 文 化 理 解 1	異 文 化 理 解 2	日 本 文 化 入 門	日 本 人 と 学 ぶ 鹿 兒 島	修 了 レ ポ ー ト	日 本 語 Ⅲ	日 本 語 Ⅳ	日 本 事 情 B	郡 元 キ ャ ン パ ス 小 計	日 本 語 ・ 日 本 事 情 Ⅱ	日 本 語 ・ 日 本 事 情 Ⅳ	下 荒 田 キ ャ ン パ ス 小 計	会 話 初 級 1	会 話 初 級 2	た の し い 日 本 語	国 際 交 流 会 館 小 計	桜 ケ 丘 初 級 1	桜 ケ 丘 初 級 2	桜 ケ 丘 中 級	桜 ケ 丘 キ ャ ン パ ス 小 計	国 別 人 数		
ア メ リ カ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
ア ルゼンチン	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
インドネシア	1	2	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	0	3	0	3	6	0	0	0	16	
エジプト	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
エチオピア	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
オーストラリア	0	2	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
カメルーン	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
韓 国	1	2	0	2	0	2	0	0	0	0	2	2	2	1	2	4	0	1	9	0	12	12	11	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65
コートジボアール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
コロンビア	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	6	
タ イ 湾	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	7	
台 湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	5	
タンザニア	3	1	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
チ リ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
中 国	3	1	9	1	0	0	0	9	3	1	3	2	3	1	0	0	0	5	1	1	2	17	17	18	97	1	1	1	2	3	4	1	8	0	1	2	3	110
ナイジェリア	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
バングラデシュ	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	2	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	16
フィリピン	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	3	
ブラジル	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
ベトナム	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	5	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
マレーシア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	3	11	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	12	
ミャンマー	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
ヨルダン	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
ラオス	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
リビア	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
ロシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
受講者総数	14	13	17	12	10	10	2	16	10	7	4	7	7	8	2	4	17	5	7	12	12	35	34	34	299	4	2	6	9	6	5	20	4	3	4	11	336	